

嵐山町立小中学校再編基本計画(案)説明会 実施報告

令和5年10月
嵐山町教育委員会 教育総務課

○日程

1. 令和5年9月 25 日(月) 午後7時 北部交流センター
2. 10月5日(木) 午後7時 ふれあい交流センター
3. 10月8日(日) 午後3時 嵐山町役場町民ホール

○出席者(全日程共通)

- ・教育委員会 下村教育長、教育総務課長、教育総務課職員7人
- ・嵐山町関係課 総務課長、地域支援課長、福祉課長、まちづくり整備課長
まちづくり整備課島田副参事、生涯学習課長(6人)

○次第(全日程共通)

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 嵐山町立小中学校再編基本計画(案)の説明
4. 質疑応答
5. 閉会

○参加人数

1. 北部交流センター(9月25日実施)

参加者数 39人

学校区	菅谷小	9	七郷小	24	志賀小	3	町外	3
区分	未就学児	3	小学	15	中学	2	一般	24

2. ふれあい交流センター(10月5日実施)

参加者数 51人

学校区	菅谷小	31	七郷小	5	志賀小	15	町外	0
区分	未就学児	14	小学	16	中学	5	一般	24

3. 町民ホール(10月8日実施)

参加者数 40人

学校区	菅谷小	19	七郷小	14	志賀小	7	町外	0
区分	未就学児	11	小学	9	中学	2	一般	23

○質疑応答内容

- ・北部交流センター分 3ページ
- ・ふれあい交流センター分 6ページ
- ・町民ホール分 10ページ

○アンケート内容

- ・北部交流センター分 16ページ
- ・ふれあい交流センター分 18ページ
- ・町民ホール分 21ページ

○質疑応答

1. 北部交流センター(9月25日実施)

Q. 七郷小学校の複式学級は令和9年度には起こる問題とされている。対応はどう考えているか。

A. 学校再編についてはできるだけ早くできるように進めていきましたが、準備等の段階で令和9年度では難しいということになり、令和11年度の再編統合へ向けて基本計画案をご説明させていただいています。令和9年度に起こりうる複式学級については、事前に課題等を整理し、児童が適切な教育環境で学ぶことができるよう努めていきたいと考えています。

Q. 複式学級がうまくいったとしても、統合以降の七郷小学校の児童は他の学校と比べて環境の変化が大きい。どのように対応するのか。

A. 先のことなので確定的なことが決まっているわけではありませんが、例えば音楽や体育などは複式学級で異学年の人数を合わせても可能であり、効果的です。しかし国語や算数など教育的内容に差が出るものは、町で教員を新たに雇用し指導をしていくなど、デメリットを解消していきたいと考えています。

Q. 昨年の説明会から具体的な計画が定まっていない。いつ定まるのか。

A. 令和11年度開校を目指していく中で、今回基本計画案を作成させていただきました。これが正式に基本計画となった後、令和6・7・8年度でさらに具体的な内容を盛り込んだ基本設計と実施設計を行い、令和9・10年度に建築工事を行う予定です。スクールバスや通学路整備の詳細については今後統合準備委員会等で検討してまいります。

Q. スクールバスはコミュニティバスとしても利用可能なのか。コミュニティバスは子供の安全確保が難しいのではないのか。

A. バスの利用方法については現在検討中です。スクールバスをコミュ

ニティバスとして利用する場合、スクールバスとして運行する時間はコミュニティバスとしては利用しないので、一般の方が子供と一緒にバスに乗ることはありません。

Q. 七郷地区の中学生の自転車通学について、距離的にも、事件や事故等の安全面においても再検討が必要と思うがいかがか。

A. 中学校は部活動があり、スクールバスだと下校時刻に制限があることから、自転車の方が時間的に自由になるとの考え方もあるかと思えます。電動アシスト付自転車購入補助の対象距離や対象者については、引き続き検討してまいります。

Q. 新しい学校の駐車場は何台になる予定か。

A. 具体的な台数は確定しておりませんが、基本計画案にお示したエリア内に駐車場を設置する予定です。多くの車両を止められるようにとの要望は以前からいただいておりますので、できるだけ反映したいと考えています。

Q. 学童保育について。自分は七郷小なので学童を利用できているが、菅谷小の人の話を聞くと3年生の子供はなかなか利用できないと話している人もいます。全国的に学童の利用状況は何年生の利用が多いのか。

A. (福祉課長回答)

現在嵐山町に学童は菅谷小に2つ、志賀小に1つ、七郷小に1つあります。嵐山町では5年生で若干待機が発生している状況ですが、他の学年では待機することなくご利用いただいております。

Q. 学校再編計画と同時並行で七郷小学校を存続させる計画をお願いしたい。七郷小学校は五感を通した情操教育を行うのに最適だと考える。

A. 学校再編を進めていながら子供たちの感性や人間関係を育てていきたいと考えています。計画については貴重なご意見としてお受けしたいと思います。

Q. 新しい学校は何階建てになるのか。

- A. 具体的な設計段階に至っておりませんので詳細はまだお答えできませんが、建築関係法令の諸制限もありますので二階建て、もしくは一部三階建て等を検討しているところです。
- Q. 新しい学校の場所について、玉ノ岡中学校は町の中央にあり、集中的に建築するには良い場所と思われるが、玉ノ岡中学校を建設地にするシミュレーションは行われたのか。
- A. 玉ノ岡中学校は大雨の際に市ノ川と粕川の洪水により通行が寸断される可能性があります。災害時のことなどを総合的に判断して、菅谷小学校及び菅谷中学校の場所と決定したものです。
- Q. 玉ノ岡中学校周辺に耕作放棄地がたくさんある。答申で建設地は菅谷小・中と示されたが、そういった場所に変更しようというような考えはないのか。
- A. 新たな土地に建設となりますと用地買収で多額の費用と多大な時間がかかってしまうため、町が保有している土地で検討を行いました。また、審議会において地域・保護者・教職員の代表者が時間をかけて審議し、いただいた答申でありますので、答申を尊重し、安全面等を考慮した結果、菅谷小学校の敷地が良いと教育委員会で決定したものです。
- Q. 新しい校舎が一体型なのか分離型なのかは、いつ示され、意見交換の場は設けていただけるのか。
- A. 今回の説明会は基本計画案の骨子の部分に関する説明会です。この後、パブリックコメントを経て基本計画が策定されます。校舎の形やスクールバス等の詳細は今後、統合準備委員会等で協議します。決定したことを皆さんへご説明する機会を設けさせていただくことは必要であると考えていますが、現在、具体的にお答えすることは難しいです。

2. ふれあい交流センター(10月5日実施)

Q. 建設位置を菅谷小学校とした理由は何か。

A. 子供が菅谷地区に多く集中していることや、スクールバスを検討するうえで乗車する児童生徒が少なくて済むこと、仮設校舎を建てなくて済むことや、再編後も菅谷小学校の体育館とプール、菅谷中学校の体育館を今後も活用していくうえで良いと考えています。また、七郷小は土砂災害特別警戒区域に指定されており、玉ノ岡中は大雨時に市ノ川と粕川の増水により交通が遮断される可能性があります。これらのことを考慮し検討したうえで菅谷小の場所に決定しました。

Q. 人数が多いからという理由は、人数が少ないところは衰退してよいのかということになるがいかがか。

A. 審議会では新しい学校の場所として町内各学校を検討しましたが、小中一貫教育を進めるために小中学校を隣接して建設するためには、面積要件や用地確保の面から考えると、七郷・志賀・玉ノ岡は厳しいということになりました。また、災害面からも玉ノ岡中は大雨で孤立地区になることや、七郷小は土砂災害警戒区域となっていることを考えますと、菅谷が新しい学校の位置として理想的であると判断しました。

Q. 全く新しい土地に建設する考えはないのか。

A. 費用や用地買収にかかる時間等を考えると難しいと思います。場所によっては学校が建てられない土地もあります。それらを考慮して、現在学校用地として使用している土地を使うと判断したものです。

Q. 廃校になった学校は今後どうなるのか。

A. 町の学校再編プロジェクトチームにおいて、廃校となる学校の今後の在り方について検討してまいります。

Q. 廃校になるところは今後も人口が減っていく。駅前との格差については学校だけの問題ではないと思うがどのように考えているか。

A. ご質問の件は学校だけの問題ではなく、町づくりの問題として町内で検討しています。教育委員会が第一優先に考えているのは、これからの子供たちの教育環境です。七郷小学校は高い確率で複式学級が発生することが予見されていますが、小規模化していく中で子供が教育を受ける環境は改善していかなければならないと考えています。

Q. 建設にかかる経費は今後膨らむことが予想されるが、説明にあった経費は現段階のものか。

A. ご説明した金額は現段階の概算経費です。今後は物価上昇で経費が上がることも想定されます。最終的には経費内で済むような財政計画としています。

Q. 4案のうち、AB案とCD案の工期の違いは仮設校舎の有無によるものか。

A. ご質問のとおり、仮設校舎建設の有無が工期の違いとなっています。

Q. 建設中に仮校舎を建てないと事業が進まないというのであれば、菅谷中学校の生徒を玉ノ岡中学校へ通学させるという検討はあったのか。

A. 以前に学校再編の検討をしていた際にはそのような計画であったと思います。今回、新たに再編の検討を行っていく中で、工事期間中に菅谷中学校へ退避する案については、子供への負担が大きいと判断して選択肢から外しました。

Q. 新校舎を建てたとしても、児童生徒の人数は減る。空き教室が出てくることが予知されるが、何か検討しているか。

A. 現在、新しい校舎を検討しているなかで、社会教育施設としての一部開放や、子供も大人も利用できる場所にできないかなど、別の目的での使用方法を検討しています。

- Q. スクールバスはどれくらいの規模を考えているか。
- A. スクールバスの対象は、七郷小へ通学想定小学生と古里地区の中学生を考えていますが、これは案であり決定事項ではありません。その他、バスの台数やルート等も現段階では決まっておりません。実際に自動車ですべての時間を計測するなど、様々なシミュレーションを行い、乗車人数や乗車場所、バス停の位置等を統合準備委員会で検討してまいります。
- Q. 教育内容の調整と心のケアについて、現在何か決まっていることはあるか。再編から外れたすでに卒業した子供への心のケアも必要と感じるがどうか。
- A. 統合が近くなりましたら小学校3校、中学校2校で行う行事を増やし、教師も教育課程や生活のルール、カリキュラムのすり合わせを行い、円滑な統合につなげていきたいと考えています。すでに卒業した子供たちについても、廃校となる全ての学校の歴史・記録を残し、後世へ伝えていくことでケアできるよう、再編整備とともに進めていきたいと考えています。
- Q. 学校を新しくしても人は減り、町に魅力がないと町の人口が減っていく。嵐山町の今後のまちづくりについて伺いたい。
- A. (まちづくり整備課長より回答)
嵐山町は緑と清流が多くありますので、これらを生かしたまちづくりを実施していきたい。今回は菅谷地区が中心となるが、町全体として緑と清流を活かしたまちづくりを行っていきたいと考えています。
- Q. 4案比較のA案は事業費59.9億円だが、概算事業費の表に示したA案は約58億円となっている。この差は何か。
- A. A案～D案の比較材料としてそれぞれの案の概算費用を算出しました。その時のA案は59.9億円でした。A案に決定したのちに改めて普通教室と特別教室の面積や共有スペース等を精査し、約58億円を概算費用として算出したものです。

Q. 国庫補助金1/2というのは内定が出ているのか。

A. 国庫補助金についてはまだ交付決定を受けておりませんが、県を通じて国と事前協議を進めていきながら、ある程度の見通しがついたところで、本計画に組み込んだものです。

Q. 財政計画について伺いたい。

A. (総務課長回答)

財政担当の財政計画はさらに厳しい60億で試算していますが、資料の58億で説明します。

令和4年度決算で2億円と令和5年度補正で2億円、現在合計4億円の建設基金があります。この建設基金は来年度以降も償還開始まで積み立てていきたいと考えています。

58億円の半分29億円が国庫補助金であり、残り29億円を借金で賄うこととなりますが、建設基金4億円を差し引いて25億円を返却予定となります。木造で建築すると耐用年数は22年ということで、償還期間も22年と短くなります。そのため30年で償還できる鉄筋コンクリート造木質化で検討しています。

25億円を30年で返していく場合、年間約1億円弱の返済となりますが、交付税22%が見込まれるため、町の負担は実質年間7,800万円となります。積み立てていく建設基金2億円のうち、7,800万円を返済していけばよいので、今と同じ財政運営で返済していくことが可能と見込んでいます。

Q. 詳細は統合準備委員会で決めていくとのことだが、立ち上げる時期と構成メンバーを教えてください。

A. 統合準備委員会は、基本計画(案)が基本計画と策定された後に立ち上げる予定です。構成メンバーは保護者、地域の方、PTA、教員等を考えています。また、子供中心社会ということで、子供からも意見をもらえるような機会をつくり、均等に意見を取り入れていきたいと考えています。

3. 町民ホール(10月8日実施)

Q. 今後どう進めるのか。今日の説明で3回目、町民への説明は終わったから(案)を取るだけなんておかしな話だ。全国的に小中学校の再編が進んでいるが、住民がどのように参加するのか、意見の違う住民同士の意見交換の場をつくる方向で進めてほしい。

A. 今は再編基本計画案の説明会を開催させていただいています。この後、パブリックコメントでご意見をいただき、基本計画案の案を取って基本計画として決まったら、学校の設置条例を議会に提案して学校の位置を条例で定めたいと思います。今回は基本計画で、今後は、設計、建設と進めてまいります。途中段階では、町民の皆様への説明機会を設けたいと考えています。

Q. 事業費について、11年度開校になると建築は9年度10年度くらいかと思うが、今後の物価上昇などはどのように考えているのか。

A. 計画案の11ページにお示ししている金額は、コンサルの持っている数字で概算しています。現在もなお物価上昇しているなかで、11年度にどのようになっているかは予想がつかないところです。今後の設計の段階で、物価上昇に備えて、限りある予算の範囲で事業実施できるように検討しています。

Q. 資料を見たが、よくできていると思う。いくつか質問をしたい。

- これまでの教育長のときの答申はどうだったのか。
- 小中学校を菅谷中学校にと聞いていたが、小学校に変更になった理由は何か。
- 国から1/2補助が出るが、残りの持ち出しについて埼玉県などに働きかけて予算的になるべく有利に進めてもらいたい。
- 新しい学校は校長、教頭が小中それぞれにとあるが、教頭と副校長の違いは何か。
- 滑川町では福田小学校で小規模特例校を選択した。嵐山は小学校中学校統一で行う。小中一貫で校長教頭を一人にできなかったのか。
- 学校の跡地利用はどう考えているのか。

A. ● 前々代の教育長の時に学校再編の検討が始まりました。様々な委員を呼んで検討をしましたが、そこでの検討は一旦白紙に

なりました。前代の教育長の時に、学校再編の審議会を立ち上げまして、地域、学校、学識経験者から小中各1校に統合という答申を受けました。それに基づき今回の基本計画案を策定しました。

- 今回の答申で、学校の場所は菅谷小か中の場所という答申をいただきました。子供の教育活動を考えたとき、小学校のプールと体育館を小学生が引き続き使うことを想定すると、菅谷中学校敷地に建設すると、小学生が活動のたびに道路を渡るようになります。子供の発達段階を考慮しまして、道路を横断するのは中学生の方がよいということで、菅谷小学校敷地と決定しました。
- 1/2補助の残りの部分を今後計画的に返していくことをシミュレーションしています。起債の返還については総務課で検討をしています。
- 埼玉県では副校長制を導入していません。教頭も副校長も校長を助ける役割ですが、埼玉県では教頭としています。
- 滑川町では来年度から小規模特認校とのことです。特認校の場合は、校区の枠を取り、子供が小さな学校へ通学可能になる制度です。移せる児童の余裕があり、他の学校の児童数が増えている状況があって、選んで通える制度を取ったものだと思います。嵐山町で特認校を考えたとき、全体的に児童が減少をされていて、クラス替えができない、人間関係の固定化や多くの友人と切磋琢磨できない問題は解決しないなかで、現実的に効果が見込めないと考えたため、小規模特認校は想定していません。校長・教頭を一人というのは検討をしました。義務教育学校を作れば校長・教頭は各1人で済みます。しかし、小学6年生がリーダーを経験するのは、教育的に見て、とても効果があります。小学6年生は最上級生の役割を果たすなかで成長してほしいと考えています。
- 跡地利用については、庁内プロジェクトチームで検討します。今後、町民の皆様の意見を聞いて進めたいと考えています。その際はご意見を頂戴できればと思います。

Q. 中学生のスクールバス運行範囲について。現在は遠方の古里地区のみとなって想定している。古里地区に限定した理由を聞きたい。ほとんどの七郷地区は街灯もなく人もいなくて危険である。私は半年間、嵐山駅まで自転車で通って

いたが、18歳でも毎日厳しい状況だ。田んぼがあるため街灯も増やせない。そんな中、中学校まで通学させるのは親として心配である。交通事故、性犯罪の危険性も増える。要望としては、小学校と同様に中学生も七郷地区はスクールバスを利用できるように強く希望する。何かあってからでは遅い。

A. 中学生のスクールバス範囲は、今日ご説明した中では、七郷の小学生と古里地区の中学生としてますが、まだ決定ではありません。現在、中学生の適正な通学距離は6kmとされているところから想定をしました。中学生は部活動もあり、バスだと下校の時間が制限されることから自転車の方が便利ということもあります。今後、バスの経路やバス停、どのような児童生徒を対象とするのか、スクールバス全般について準備委員会で検討して決めていくものと考えています。

Q. スクールバスは地域の実情に沿って決めてほしい。電動アシスト自転車の購入補助について、中学3年生から新しい学校というケースもある。中3の子に電動アシスト自転車を買うのは負担であるため、全額補助、または中学期間中に貸与などを検討してほしい。

A. 今回、再編によって遠距離通学となる中学生に対して、補助制度を新設してサポートできないかと提案をさせていただいているところです。普通自転車とアシスト付自転車の差額相当分を考慮して補助できればと検討しています。具体的な金額については、これから決めていくことですので、今お示しすることはできませんが、中学生が無理なく安全に通学できるよう配慮をまいります。スクールバス同様に準備委員会で検討し、補助については町予算もありますので、そちらも考慮しながら決定したいと考えています。

Q. 要望になるが、生まれてからずっと嵐山に住んでいる。嵐山町は南北に長い地形で、この地形を考えると、どちらかに負担が偏るのは当たり前である。町は子供の安全を守る義務があると考えます。

A. 要望とのことですが、通学については子供たちが無理なく安全に通学できるよう配慮したいと考えています。

Q. こうして基本計画が出されたが、まだ案なので、統合準備委員会を立ち上げる

なかで、有識者や町議などのメンバーが入るのだと思う。これからの嵐山を良くしていくため、住んでいて良かったとするため、若い方を構成メンバーに入れることはできないか。やわらかい考え方、色々な視点をもった構成メンバーにしてもらいたい。それと予算の話で、物価高騰の見通しは厳しいと思う。予算にあった箱モノを検討していきたいと言っていたが、予算に合わせたものだと子供たちには負担なのではないか。予算ありきではなく子供たちの視点で検討を進めてもらいたい。

A. ご意見ありがとうございます。統合準備委員会のメンバーは今後、学校名や学校での生活の決め事、制服や校則など具体的なことを検討するため、実際に関わる方の意見が必要です。子供に関わる部分は保護者などから、スクールバスは区長などの地域の方から意見をいただきたいと考えています。

校舎については、一度建設すると何十年と長い間使うこととなります。これからの社会を生きる子供たちに必要だろうというものを取り入れ、不必要なものは削除して、未来を見据えた設計を行っていきたいと考えています。

Q. 今後50年先まで考えたほうが良い問題であると考えている。

まず、今回の仕事の進め方の順序が間違っている。国が住民の意見を聞くといっているが、学校の問題は住民の意見を聞くべきだ。最初に1校にすると行って文科省の意見に沿っているといっても、南北に長い嵐山町に1校というのは矛盾で、南北に1校ずつがリーズナブルだと思う。このような案を検討したのか。また、今回のことを中学生や卒業生に意見を聞いたのか。みんなの意見を聞いたと綺麗ごとを聞かされてどんどん進めているが、疑問である。今の計画の1校にするのは通学上問題が多すぎる。どこを通過して学校に行くのか。恐らくどこかで今後、交通事故が起こる。こんなに通学が不便なところに建てると言われても耐えられない。幹線道路、電車があり、歩道がなくて危険だと考えている。60億かけて作るならもう少し考えても良さそうなものを、なぜ一番条件が悪かったところとしたのか、理解ができない。

七郷は残した方が良い。小さい学校があったほうが良い。いじめ・暴力はなくならないので、そういう場面でも利用できる。町と山に学校がある方がいい。なくしたら終わりなので、残しておくべきだと思う。

A. この事業の進め方につきましては、条例による審議会を設置して保護者アンケートなどを実施してきました。この審議会には保護者、

地域、教師など、さまざまな分野からの代表者で、学校を再編統合しないことも選択肢に入れながら話し合った結果、決定したものですので、ご理解をいただきたいと思います。

Q. 再編審議会には七郷小 PTA の代表として参加したが、課題はつきない。進めていくにはある程度の計画で進めていかないと、全てが合致して全員が賛成の答申ではない。審議会には学校の数と位置をどうすればよいのかが求められていて、一つ一つを課題として考えていったら先には進まない。それらの問題点を子供たちのためにどう考えていくのかを一番にしてもらいたい。ある程度、案となり、位置等も決まり、そうした時に、スクールバスや自転車の通学の問題、様々な問題、計画案に基づいたビジョン、こういう素晴らしい学校になるというビジョンを提示してもらいたい。そして様々な問題点がまた出てきたときに、町民に聞いてもらいたい。このような場を何度か設けてほしいという要望です。回答はいりません。

A. ご意見ありがとうございます。しっかりと受け止めました。

Q. 肝心な子供たちにはどう説明したのか？学童・給食の問題は？道路も歩道はないし、私は子供が隣町に住んでいて関係ないので良かった。

A. 学童や給食については、今後検討していくことと考えています。

Q. 先ほど今後の進め方について説明があった。パブコメを募集して計画案の案をとって計画とすること。パブコメは参考にしますで終わるのか。パブコメによって計画の中身が変わったと町民にちゃんと示してほしい。審議会をなるべく傍聴したが、到達点が最初であって、菅谷に一つの箱を作り、そこに進めていくためにはどうしたらいいのかとアリバイ作りを感じた。答申を尊重してというが、原案を作ったのは教育委員会だ。ある審議会の委員は飲まされたと言っていた。審議会会議では、一カ所に集めるのではなく、今の玉ノ岡にしてみてもどうかという議論もあったが、紹介をしていない。どういうことか。小中学校の再編問題を調べている人も玉ノ岡がいいと言っている。なぜ玉ノ岡にしないのか。小中一貫教育は離れていてもできる。それから教育長が福田小の小規模特認校の説明をしていたが、福田の地域にとって福田小を必要としていると滑川町は判断した。学校を守ろうという視線がない。一度立ち止まって悔いが残らないように進めるべきだ。何か別の形で意見を戦わせる場を作ってほしい。

- A. パブリックコメントについては、町の制度に則っているものです。頂いたご意見は内容ごとに取り扱いを検討して、必ず公表するようになっていきます。審議会から答申をいただいたときに、答申の説明会を開催させていただきました。そのなかで、全ての説明はできませんでしたが、答申に至るまでの大まかな議論の説明はさせていただきました。一度立ち止まってとのご意見でしたが、一方で保護者の方々の早く進めてほしいという思いもありますので、より良い方向で、できるだけ早く進めていきたいと考えています。様々な面での説明は、今後ご意見を伺えるように場を設定していきたいと考えています。

○アンケート回答

北部交流センター 11件 (9/25)

番号	区分	アンケート内容
1	保護者 (幼保・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 築 35 年以上の老朽化となったのは町の管理不足と思います。同じ事を繰り返さぬよう保全のシステムはしっかりと整えてください。 ● 七郷小(だけではないですが)の後活用も十分に検討いただき、町内外の児童が集える(可能ならば高齢者等も集える)施設として、嵐山の魅力発信の場となれば。特に北部にこそ必要・最適なものと考えます。
2	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 小規模特認校についても研究を進めてほしい。 ● 七郷小校区の良さ(農村地域の大人、集団の教育力の素晴らしさ、連帯意識は財産)があるので。また、自然環境も抜群で、子供の感性を育てる素地あり。
3	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールバスについては中学校についても七郷小全域を対象にしてください。自転車通学は絶対に無理です。1学年 10 名程度なので、できないことはないと思います。雨の日も風の日も通学する子供の気持ちを考えてください。
4	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 七郷だけではなく、どの地域の小中学生も安全に通学できるように十分な協議をしていただけると幸いです。今後も詳細な情報が定期的に得られる機会があると助かります。ありがとうございました。
5	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールバスの適用範囲とアシスト付自転車補助の地区範囲も早めに案を出し、検討していただきたい。開校直前ではトラブルになる可能性があると思います。
6	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校再編計画と同時平行して七郷小学校を特色ある、そして魅力ある特認校として存続させる計画を進めていただきたい。これらを、家庭を持つ若い世代等に発信することで、若い世代が嵐山町から流出することを防ぎ、家庭を持つ若い世代の移住者を増やしていく、そして、活力ある町づくりにつなげる。七郷小学校を特認校とすることを計画してください。
7	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 町側と町民とのギャップがありすぎている感じがありました。
8	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な計画が定まらないことには、再編に賛成できない。 ● 現状だと令和 11 年度開校は難しいと思われる。 ● 子供を第一に考えてほしい。 ● 学校再編により、時間や気持ちの余裕をなくしてはならないと思います

		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PTA 活動については、教員ができるもの(登校班の計画や奉仕作業等)、無くしても問題ないものについては削減していただきたい。運動会の写真撮影などは業者に委託していただきたい。 ● 自転車通学、徒歩の危険性を考えた整備をお願いしたい。 ● 電灯が少ない。夜間車、人通りが少ない。 ● 菅谷小の場所にする理由がわからなかった。 ● 問題・課題が多すぎる。町の財政状況のみでは進められない。 ● 駐車場の台数が少ないのであれば保護者がイベントに出席できない。再編は進められない。 ● 計画を進めるには具体的計画を示してから、町民(全世帯)の賛否・意見を求めてほしい。
9	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学最後の受験生の時に学校が編成されるので、しっかり子供たちのケアをしていただきたいです。 ● 帰り道が心配です。
10	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は七郷小学校へ6年間通いましたが、緑にあふれた良い学校でした。玉ノ岡中学校も杉山城跡にある学校で自然にあふれている学校でした。私は先日、小中学校の時の同級生に会いました。その時に、「私たちがいた嵐山町と変わったね」と言われがっかりしました。「全然子供たちのことを考えられていない」と言われました。子供たちのことを考えていないから、若い人や私たち 32 歳のママさんは嵐山町に居たくなくなってしまうのです。 ● 嵐山町は自然があり、子供を育てるには良い町なので、もっと子供のことを考えてほしいです。私が出産後に嵐山町へ戻ってきたのは、自然がいっぱいの嵐山町で、楽しく学校にいてほしい、自分のように健康でいてほしいと思ったからです。 ● 小学校は自分の力で歩いていけない、中学校は自転車で行けないのが残念です。子供たちから足の力を無くしてしまうのはかわいそうです。もっと近くに学校を作ってほしいです。
11	保護者以外 (町外在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民全戸にアンケートや意見を聞いて案を作るべきだったのではないかと。町民投票など。 ● 説明会等に参加できない人の意見が死んでいると感じました。

ふれあい交流センター 20件 (10/5)

番号	区分	アンケート内容
1	保護者以外 (町内在住)	● 特にありません。早急に進めていただきたいと思います。
2	保護者 (小)	● 地域とつながり愛される学校、夢を抱き未来を切り拓ける子供の育成、様々な意見を取り入れながら、魅力的な学校が創られることを願っています。本日はありがとうございました。
3	保護者 (小)	● R11 に中3になる予定の子供がいます。不安定な時期だと思いますので、学校編成で忙しくなるといいますので、心のケアに関して充分配慮をお願いしたいです。
4	保護者 (小)	● 再編の話が後ろ倒しになっています。単級のまま9年を過ごすこととなりました。老朽化は以前からわかっていたことです。子供は慣れた面々の中で過ごし心地よいと言いますが、高校入学時に多人数の中になじめるのか心配です。志賀+七郷など、先行合併など前倒しして取り組めることも検討していただきたいと思います。子供が取り残されないような再編をお願いします。
5	保護者 (小・中)	● 説明会ありがとうございました。何か特色のある学校にさせていただき、嵐山町に住んでいただける方が増えるといいと思います。
6	保護者 (その他)	● 【A案決定後の要望】 インフラ整備を充実してほしい ・小学校周辺の道路舗装の修繕 ・小学校の北側、西側の官民境にある植栽から、ネットフェンスへ変更 ・専用駐車場の確保 ・街路灯の増設
7	保護者 (その他)	● 予算の内容が良く分かり理解出来ました。関係各所の努力を感じます。
8	保護者 (未就学・中)	● 小中1校に統合するのであれば、給食室も敷地内に建築していただけるといいなと思います。運搬する手間も減ると思うので、長い目でみるといいかなと思います。子供も温かい給食が食べられることは喜びます。宜しく願いいたします。
9	保護者 (小)	● 学童について 共働きが増えている中で、同時進行で考える必要がある。 場所・学校からのルート・駐車場、学童・・・まで検討してない これから必要とする学童数は増える ● 工事期間中の教育環境

		騒音や重機、安全安心な教育をうけることができるのか？
10	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 若い関係者がたくさん来たことは大変よかった。が、ご意見が伺えなかったので全く残念。 ● この説明会で承認されたとは思えなかった。
11	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校の再編統廃合という大きなプロジェクトに取り組むことは大変なことかもしれませんが、今後の嵐山町をどのように盛り立てていくのか、ということにつながる大切なテーマだとも思います。嵐山町全体のために、頑張っていたきたいと思いました。ただ、嵐山町での地域格差は、このままでは更にひろがってしまうのではないかと思いました。少なくとも今回のお話からは、その点に対する明確な回答はないと感じました。残念です。
12	保護者 (幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日はありがとうございます。いろいろなご意見が出てくると思いますが、子供のことを考えると統合には賛成ですので頑張っていたいただければと思います。 ● 今後出てくる、学童の問題、生徒の心身の問題等、丁寧に対応していただければと思います。また、在校生がいる中での工事になるかと思いますが、気を付けて工事をしていただければと思います。 ● R11年度からということですので、大変かと思いますが、ずるずる延びることなく開始していただければとも思います。 ● 最後に、制服等の検討の際、ぜひランドセルを廃止していただければと思います。スクールバス等にしていいただければ、小さな子の身体にも負担がないと思うので、ぜひお願いしたいです。
13	保護者 (幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校間の町道は陸橋で渡るようにして、学校敷地外に生徒が出ないで済むようにしてほしい。(生徒の安全面、近隣への配慮の点から)
14	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日はありがとうございます。説明会に参加する事で、共に計画を進められていると感じられ、再編後も積極的に企画に参加できると思います。今後も定期的に説明会の実施をお願いします。
15	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校の老朽化も少子化も危機的な状況です。令和 11 年でも遅すぎると思います。調整も大切ですが、時間を無駄にせず、できる限り早く進めて頂きたいです。可能ならば、予定よりも早い開校を望みます。
16	保護者 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内に住むすべての子供たちが元気に通える学校にしてほしい。 ● 地域の方の声をどんどん取り入れてほしい。
17	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、子供が菅谷小学校に通っていますが、通学に 50 分かかります。毎日特別な目的を持たず、50 分歩くことは、子供には納得でき

		<p>ず、行きたくないと言うこと、休むこともあります。鎌形地区在住ですが、個人的には子供のことを考えて、30分以上かかる場所は、スクールバスを出してもらいたいです。小学生には負担です。</p>
18	保護者 (未就学・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設の時期を早めることは出来ないのか？ ● 建設時の騒音対策を考えてほしい。特に小学校側に建てるため、小学生の授業に集中できる環境を整えてください。 ● 新しい建屋と学童の位置が近いため、安全面が不安。
19	保護者 (幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料について、現在菅谷小中の関係の方でないと、現状の配置がわからないので、現在の配置図もあるとわかりやすいです。 ● ぜひ「嵐山の小中にしかない」オリジナルを入れてください。楽しみにしています！
20	保護者 (幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏に嵐山町へ引っ越してきました。町づくりの話が出ましたが、確かに町に活気が無いと思います。今、子供が幼稚園ですが、幼稚園を選ぶこともできず、嵐山幼稚園一択でした。近くに菅谷幼稚園を見かけましたが、もう長いこと廃園となっているようで淋しくなりました。 ● 今後工事をするにあたって、スクールゾーンの変更や、通学路の変更、あるいは騒音、交通規制をするのでしょうか。住所が菅谷なので気になりました。 ● 統合地がたまたま最寄りの菅谷小中だったから子供にとってはラッキーだったけど、引っ越し先がもし七郷区域だったら絶望してたと思います。(土地を買う決め手が小中が近いことだったので・・・)

町民ホール 16 件 (10/8)

番号	区分	アンケート内容
1	保護者 (未就学)	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜道、通勤の時間帯の通学路の安全確保をしっかりとしてほしいです。また、これについても情報共有をしてほしい。 ● 志賀小付近の道は抜け道になっていて、通勤の車がすごいスピードで狭い道を通ってきている。
2	保護者 (未就学・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育長のあいさつが全てで、まさにその通りだと思いました(統合の理由)。いち早く進めていただきたいです。60 歳以上のもう関係のない人たちの意見は感情論であり、全く現実をとらえていません。説明会でちゃんと説明した内容なのに、聞いていなかったのかと呆れてしまいます。バスや通学路の物理的なことを解消すれば、いいものは解消できます。 ● 原案に賛成ですので、感情的な理由の反対者に負けずに直ちに進めてください。頑張ってください。
3	保護者 (未就学)	<ul style="list-style-type: none"> ● お忙しい中ご説明ありがとうございました。
4	保護者 (未就学・幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● お忙しい中説明会を開いていただきありがとうございました。前回よりもかなり進んだ詳細で大変分かりやすかったです。(色々な意見が有るようですが・・・) ● 個人的にもとても楽しみにしている計画です。日々沢山のご苦勞が続くと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。
5	保護者 (小・中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 現役世代(幼保・小・中保護者)の参加がほとんどなく、また 60～80 代のあまり建設的でない意見も多く、こんな感じでこれからも進んで行くのかと思うと、恐怖を感じました。 ● 現役世代が積極的に参加しないのが一番悪いとは思いますが、説明会をオンラインで LIVE 中継するなど、少しでも参加できるようにしてはどうかと思います。 ● 高齢者の今日の参加者の意見と若い保護者の考えの乖離が大きすぎて、とても不安です。通わせるにあたり一番負担が大きいのは結局母親なので、母親へ意見をもっと集めて高齢者の方に伝えてほしいです。
6	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちのことを大切に思うのは皆さん同じですが、意見は様々なのですね。このような会は初めてです。ちょっとびっくりしました。安全安心な教育の場ができると思いいます。
7	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 統合後の中学生の遠距離通学について、中学生のスクールバス利用も認めていただきたいです。隣町の滑川中学校においても、登校

		時の重大な交通事故の発生や、長時間の登下校により、体力が消耗し、家庭学習ができず学力低下につながるなどの問題起きています。ぜひ、中学生の安全について再検討していただきたいです。
8	保護者 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見交換の時間が少ない。 ● 各問題が論じられていない。 ● 参加者が問題点を旺んでないのでは？(原文のまま)
9	保護者 (未就学・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明の時間短縮はとてもよかった。 ● 中学生のスクールバスの運行範囲の拡大について、ぜひとも検討してもらいたい。実現をお願いします。 ● 統廃合の必要性は理解できるが、もっと住民理解を得たやり方が必要であると思う。
10	保護者 (幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● 義務教育学校に対する検討内容を資料にして頂きたい。 ● 人数が増えた場合の学童の在り方を資料にして頂きたい。 ● 今回の説明会では学校の話ばかりだったが、児童生徒の具体的な負担や効果についての検討内容を知りたい。 ● 菅谷にする計画については基本的に納得しております。頑張ってください。 <p>志賀1区民より</p>
11	保護者 (幼保・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 嵐山町立小中学校再編基本計画(案)について反対します。嵐山の未来を担っていく子供たちが通う小中学校をどこに設置し、どんな小中学校にするのがベストか、話し合っていく話し合いの場をこれで終わりにしてしまうのは良くないと思います。七郷小学校、玉ノ岡中学校の良さをぜひ活かして、再度検討をお願いします。
12	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 全面反対。この町に住みたくない。
13	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 再編基本計画(案)の説明会を3回開催しました。これで(案)をとりません。というのは不可能です。これだけまだ意見が色々あるのに、3回説明会をただけでは話し合いの時間が全然足りません。私も発言したかったけど、時間が足りませんでした。これからあと1年も2年もかけてじっくり話し合っ、町民が納得いく形にしてください。
14	保護者 (未就学・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 北に1つ、南に1つが良い。しかし、進める為にはA案で実行し、具体化に向け、保護者とともに改善していくのが良い。 ● また長く計画に伴い、現存の学校の老朽化にも速やかに対応してほしいです。特に衛生面(トイレ)に関しては早急に対応が必要だと思います。現在、七郷小に通う女子(2年生)がおりますが、保育園と違う汚い和式トイレと、流れ(水洗)の悪さに困惑して過ごしております。

		<p>今は我慢している状況ですが、再編されるまでの6年間をこのままの状態であけておいた場合、問題ですのでこれからも声をあげていきたいと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (子供の意見)七郷小学校の●年●組●●●●●です。女子トイレの水の流れが悪いです。すぐに改善してほしいです。(●は教育総務課により伏字)
15	保護者 (未就学・幼保・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の七郷小学校の教育にとても満足しているのて、再編には反対です。 ● 滑川のように人口や子供を増やす対策をしてください。 ● 年寄りばかりの地元に魅力は感じませんよ。
16	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● これで終わりでは納得いきません。町民が大いに検討して、作り上げることを本気でやめて欲しい。どうやったら多くの若い人に参加してもらえるか、地域に入ってもっと取り組んでください。 ● 校舎の老朽化は50年では起きないはず。メンテナンスのなさです。